Titan Net Processor マニュアル

概要

Arena、Quartz、Pearl Expert Pro などの Titan コンソールは最大 16 ユニバースまで、Art-Net や sACN を出 カすることができます。

それ以上出力する場合は Titan Net Processor(以降、TNP)を使用して出力ユニバースを拡張します。 TNP 1 台で 16 ユニバース拡張することができます。(最大 64 ユニバースまで)

また、TNPに信号出力を割り振ることで、コンソール自体の負荷を減らす効果も望めます。



TNP 本体には DMX 出力ポートが 8Port しかないため、それ以上出力する場合は Art-Net/sACN ノードが必要になります。

コンソールとTNPを接続する場合、すべての機器が同じバージョンのソフトウェアである必要があります。

Titan-Net での動作

複数のコンソールを Backup Mode や Multi-User Mode で接続した場合、Master コンソールからのみ、信号出 カをします。

コンソールと TNP を接続した場合は双方から信号を出力します。(TNP に出力設定をしている場合)

複数のコンソールと TNP を接続し、Backup Mode や Multi-User Mode で接続した場合、本体・液晶画面上の [Take Over]ボタンを押すと、コンソールから出力している信号はスレーブ卓からの出力に切り替わります。 TNP からの出力は変わりません。



TNP を使用することで、操作卓の負荷軽減が図れる半面、すべての信号を TNP に割り振ると、TNP に不具 合があったときに信号出力が途切れてしまい、本番進行に影響がでる可能性もあります。 そのため、信号の割り振りについては、よく検討する必要があります。

Titan Net Processor の設定

Home 画面



各 Menu について



Setup

<u>Network Setting</u> … ネットワークの設定を行います。



各項目について



[※] 数値の入力は画面に現れるソフトウェア・テンキーを使用

<u>Node Setting</u> … 表示に関する設定を行う

Tools	🕑 TNP-00220	215	15:54	TNP-00220	
Home	Setup	Lock	Tools	Exit	Enter
Network Settings	Node Settings				
	Noc	le Setting ;	ボタンを押す	と、設定項目な	を表示。
	Home Se	tup	Lock		
Node	Legend = Node lin p-00220	e Reset loger default	d to		
		and the second second			

各項目について

: 機器の名称を変更(デフォルトはシリアル番号ベースのもの)



: 機器の識別用の色を変更(コンソールでもこの色が表示) ボタンを押すと別画面になるので、色を選択





Lock



Lock ボタンを押すと TNP の操作ができないようにタッチパネルのロックをかけることができます。

画面上のテンキーでパスワードの数字を入力して Enter を押すと画面に Lock がかかります。



設定した数字を入力し、Enterを押すとロックが解除されます。

コンソールとの接続

コンソールとは、同じネットワーク・グループ設定のポートで接続します。

Arena/Pearl Expert Pro 卓はイーサーネット・ポートが2系統あります。 そのため、Titan-NetのポートとArt-Net/sACNのポートを分けることができます。

Quartz 卓はイーサーネット・ポートが 1 系統しかありません。 Titan-Net と Art-Net/sACN のポートは兼用になります。

正しく接続されると、システムの DMX Setting に TNP が現れます。

(DMX Setting : [AVO] + [Disk] \rightarrow [Soft Key B / DMX Setting])

205 Tools		D QTZ-00511	TOSHIBA	STER.	16:09
DMX Settings				0	1) (×)
TitanNet Overview QTZ-005	11 TNP-00220				
and some statements	Available Drnx Nodes		Dmx Lines		
V Streaming ACN			Line 1 (ArtNet: 0 DMX: A)		×
skCit: Universe			Broadcast: Universe 0 ArtNet		×

[TitanNet Overview]タブを押すと、現在接続中のコンソール/TNPとLineの設定状況が表示されます。

Tools	💬 QTZ-00511 📑 TOSHIBA	16:10
DMX Setting	インと機器の接続は配線表	
TitanNet Overview: QTZ-00511 TNP-00220		
Line 1 QTZ-00511 (ArtNet: 0 DMX: A)	QTZ-00511	QTZ-00511
Line 2 QTZ-00511 (ArtNet: 1 DMX: B)	Lines: 12/16 Physical DMX: A B C D	
Line 3 QTZ-00511 (ArtNet: 2 DMX: C)		
Line 4 QTZ-00511 (ArtNet: 3 DMX: D)		
Line 5 QTZ-00511	TNP-00220 2.24.141.181	Legend QTZ-00511
Line 6 QTZ-00511	Lines: 0/16 Physical DMX:	Device Name QTZ-00511 RDM Id LocalDevice
Line 7 QTZ-00511		Sofware Version 11.4.7.5
Line 8 QTZ-00511		Nobusek Adaptor
システム上のライン	接続されている	Name Local Area Connection 1 IP Address 2.254.68.54
(最大 64Line)	Titan デバイス	Subnet Mask 255.0.0.0
		Ping States localhost
Line 12 QTZ-00511		Ping Result Success Round-trip time 0 ms
Line 13		TitanNet Communication
Line 14	クリックすると詳細を表示	Last Clock Sync Never

中央部には、接続されている Titan デバイスが表示されています。



TNP は、まだ Line の設定をしていないため、DMX Setting の DMX Lines には何も表示されません。

左側のライン一覧から割り付けるラインを選択(複数可)し、中央の割り付けるデバイスのライン部分をクリックします。

Tools	💬 QTZ-00511 🚹 TOSHIBA
DMX Settings	
TitanNet Overview QTZ-00511 TNP-00220	
	QTZ-00511
Line 12 QTZ-00511	localhost
Line 13	A B C D A B C D 1 2 3 4
Line 14	
Line 15	
Line 16	2.24.141.181
Line 17	
Line 18	
Line 19	
Line 20	
Line 21	(2) 割り付けるナハイスの
Line 22	Lines 部分をクリック
(u	
10 ラインを選択	
(

クリックすると、割り付けた Line と中央のデバイスが識別色で配線されます。

Lines 部分に割り付けた回線分、チェックが入り、若い番号から自動的に物理ポートが割り付けられます。

Tools		💬 QTZ-00511	TOSHIBA
DMX Settings			
TitanNet Overview QTZ-00511	TNP-00220		
		QTZ-00511	
Line 12 QTZ-00511		localhost Lines: 12/16	Physical DMX:
Line 13 TNP-00220	(DMX: A)		A B C D 1 2 3 4
Line 14 TNP-00220	(DMX: B)		
Line 15 TNP-00220	(DMX: C)		
Line 16 TNP-00220	(DMX: D)	2.24.141.181	Buriel DAY:
Line 17 TNP-00220	(DMX: E)		B D F H 14 16 18 20
Line 18 TNP-00220	(DMX: F)		A C E G 13 15 17 19
Line 19 TNP-00220	(DMX: G)		
Line 20 TNP-00220	(DMX: H)		
Line 21 TNP-00220			
Line 22 TNP-00220			
Line 23			

Line を割り付けると、DMX Setting の DMX Lines にライン設定の項目が現れて Art-Net 等の出力設定ができるようになります。



物理ポートの割り付けもここで変更することができます。

接続済みラインの解除

接続設定したラインを外す場合は、TitanNet Overview タブで、左側の Line 一覧から、外したい、接続済みの ラインを選択し、[ソフトボタン A / Unassign Lines] を押します。

